

観 点 ・ 小 問 ご と の 分 析	対 策 の 視 点
<p>たのか、25歳としたものの誤答が目だつ。 労働組合の正答率は44%である。 農地改革も68%の正答率で、誤答例としては、地租改正が多い。</p>	<p>中から具体的な例をとりあげ指導することが大切である。</p>
<p>5. 平安時代の文化（源氏物語・平等院鳳凰堂） 紫式部の源氏物語の正答率は69%、平等院鳳凰堂は50%である。誤答例としては、金閣が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 文化遺産を指導する際は、それがつくられた時代背景を明確にするなどして、断片的な知識の指導に終わらないようにしたい。</li> <li>◦ また、文化遺産を日常生活とのかかわりで指導するとともに写真などの資料を活用することが大切である。</li> </ul>
<p>6. 都道府県知事の選挙と日本国憲法（天皇の地位） 都道府県知事の選挙についての正答率は69%、日本国憲法における天皇の地位についての正答率は62%である。 誤答例として、大日本帝国憲法でも男女は平等であるとしたもの、衆議院議員の被選挙権が30歳以上としたものが多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 児童が身近に接する例から、選挙に対する関心を高めておくことが大切である。</li> <li>◦ 日本国憲法の内容を大日本帝国憲法の内容と比較しながら指導することが大切である。</li> </ul>
<p>7. 歴史上の人物（足利尊氏・聖武天皇・杉田玄白・織田信長・福沢諭吉・ペリー）とその働き 室町幕府の開設者としての足利尊氏の正答率は39%である。誤答例としては、豊臣秀吉と織田信長が多い。 仏教を深く信じ東大寺などを建てた聖武天皇についての正答率は59%で、誤答例としては豊臣秀吉が多い。「解体新書」を著した杉田玄白の正答率は、73%である。 天下統一を目指し、安土城を築いた織田信長の正答率は47%で、誤答例としては、</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ ここで取り上げた人物は、いずれも日本の歴史上重要な人物であり重点的に指導しなければならない。</li> <li>◦ 人物の指導にあたっては、人物の具体的な働きを取り上げ、人物の願いや当時の世の中の人々の願いなどが人物の働きを支えていることを理解させるとともに、その働きを当時の世の中の様子と結びつけて正しく理解させることが大切である。</li> </ul>